



心も体も元気な岡村っ子

あき

おもいやりもち、
かがやく自分を求めて、
むちゅうになって共に学び
みらいを創っていく子



横浜市立岡村小学校・学校だより

R5.10.31

<http://www.edu.city.yokohama.jp/sch/es/okamura/>



実りの秋

横浜市立岡村小学校
副校長 森下 誠



10月20日金曜日、「全校遠足」を実施しました。爽やかな秋晴れの下、なかよし班（異学年交流班）の仲間と久良岐公園での一日を過ごしました。

『けやき6月号』の岡村オリンピックに寄せた巻頭言でも取り上げましたが、学校行事を含む教育活動には、必ず「ねらい（目標）」があります。今回の全校遠足では、次の3つをねらいとして掲げました。

- ・異学年の縦割り交流を行うことにより、お互いのよさを認め合い、より豊かな人間関係を高めようとする。
- ・上級生の子は、下級生の子に対して、みんなが楽しめるようにするためにどうしたらよいかを（進んで言葉をかける、参加するなど）考えようとする。
- ・下級生の子は、どんな態度で参加すれば、みんなが楽しくなるかを考えようとする。

このねらいを達成するために、特別活動部(校内における教科等担当の一つ)を中心に計画を立案し、学校全体で協議の上、内容を決定し、実施しています。

遠足当日に向けた子どもたちの取組として、レクリエーションの内容を話し合ったり、オリエンテーリングを回る順番を考えたりして、なかよし班のみんなが楽しめるよう準備を進めました。当日は、6年生がリーダーとして班をまとめ、レクを楽しく盛り上げたり、下級生に優しく声をかけたりする姿がたくさん見られました。

普段とは違う集団で過ごすことの難しさがある中で、「範を示す」「信頼する」「がまんする」「折り合いをつける」等、社会で生活していくうえで必要なコミュニケーション能力を身に付ける機会の一つとなったように感じます。今回学んだことを、これからの生活に生かしていくことができるよう指導・支援を続けてまいります。